

濟的實質に於いて、生等、建築は閣下及諸公が皇國永遠の幸福安泰の爲に、他の孰れよりも歓迎せらるべきであり、事を、生等は確信して疑はざるものであります。

單に帝制の復興と一筆、政治の社會問題、經濟問題を等閑に附しての、政治の形勢的復興案として、今日まで日不工人俱樂部の提議は、最も纏まつたもので、無いかと生等は思惟します。然、乍ら若し市制問題での權威とも云ふべき後藤子爵にして、その政案を發表せられ、正存らば、是れ日工人俱樂部の考案以上であらうと豫測せられます。

故、生等は茲に改めて、生等の提案大要を箇條にして陳述いたします。

震災を天與の機會として行ふべき

全國的大社會政策案

一、勅令を以て期間を定め全國的大社會政策実施の旨を宣布せらるべき事。

二の宣布にして行はるれば、その實施完成は幾年の後なりとも、民衆は其の良き日を樂しみに如何なる勞苦艱難にも堪ゆべく、不平怒差の聲は潛み、世は隨喜歡呼の聲に滿ちやう。

二、大東京建設の計画を以て其の必要土地を國有とせらるる事。その賠償は三十年以上の長期公債を以てせらるる事。

これには震災こそ絶好機會である。往時の土地返上、廢藩置縣よりも容易に行はれ、民衆をして